

## 平成 30 年度 第 3 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 30 年 11 月 26 日（月） 午後 3 時から 4 時 45 分まで

場 所：庁議室（第一庁舎 5 階）

出席者：委 員/ 青柳委員、荒井委員、池尻委員、市村委員、伊藤委員、金物委員、  
萱津委員、熊井委員、黒岩委員、清水委員、寺田委員、轟委員、廣田  
委員、藤原委員、梅干野委員、牧野委員、宮沢委員

長野市/ 倉石総務部長（代理：望月参事兼公有財産活用局長）、西島企画政策  
部長、清水財政部長、増田地域・市民生活部長（代理：神尾地域活動  
支援課長）、竹内保健福祉部長、北原こども未来部長、井上環境部長、  
高橋商工観光部長、倉島文化スポーツ振興部長、横地農林部長、金井  
建設部長、羽片都市整備部長、上杉会計局長、松本教育次長（行政）、  
永井教育次長（教育）（代理：小林主幹兼小中高連携推進室長）、戸谷  
上下水道局長、根岸消防局長、島田危機管理防災監

事務局/（企画課） 日台課長、佐久間補佐、宮坂係長、山口主査、白澤主査、  
小林（清）主査

（人口増推進課）長谷部課長、関谷補佐、永岩主査、飛澤主査

### 1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより今年度 3 回目の長野市総合計画審議会を開会いたします。企画課の佐久間と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、お断りをさせていただきますが、この審議会は、長野市の指針により原則公開になっております。あらかじめご承知おきいただきますようお願いいたします。

本日の資料ですが、次第、表紙に資料集と記載し、綴じてある 5 ページの資料、資料集と書かれた表紙に別冊資料として記載している 8 冊の資料を、机上一にご用意しております。ご確認をお願いいたします。

### 2 委員の委嘱

（事務局）

それでは、次第に沿って進めてまいります。

委員の委嘱につきまして、本来でしたら委員の皆様お一人お一人に委嘱書をお渡しすべきところですが、時間的な制約もあり、机上一にご用意をさせていただいております。ご了承いただきますようお願いいたします。

なお、本日もご欠席の皆様につきましては、後日事務局から郵送をいたします。

### 3 市長あいさつ

(事務局)

次第の「3 市長あいさつ」、加藤市長お願いいたします。

(加藤市長)

皆さんこんにちは。市長の加藤でございます。

このたび、皆様には総合計画審議会の委員にご就任いただき、心から御礼申し上げます。今回、全員の方が改選ということで、委嘱書を机上に置かせていただいたところでございます。よろしくをお願いいたします。本日は、会長、副会長の選任もお願いしたいと思っております。

長野市総合計画は長野市の最上位計画であり、この計画に基づき市政の全てが進められるということで、大変重要な役割を担っております。第五次長野市総合計画は、平成27、28年度にわたりご審議いただき、平成29年度から始まったところでございます。この計画では、目指すまちの将来像として「幸せ実感都市『ながの』」の実現を掲げており、長野市に住む人が将来にわたって幸せを実感できるよう、日々取り組んでおります。

今最大の関心事は、少子・超高齢化、人口減少社会ということで、下り坂の時代に入っておりますが、そのような中、どうやって将来に負担を先送りしないか、かつ、将来の皆さんが幸せを実感できる体制をつくっていくか、ということでございます。特に、高齢者につきましては、松本市長とともに、高齢者の定義を75歳以上からにするように提案し、町村会、市長会のご賛同をいただきまして、先般、県知事に申入れを行ったところであります。これからは、高齢者に元気に活躍していただく、同時に、女性が活躍しやすい社会にしていく必要がございます。現在、長野市も新規採用職員の半数かそれ以上が女性職員ですが、今のところ女性の幹部職員はまだまだ少ない状況です。新規採用した女性職員が、いずれ先頭に立ってやっていけるようにということで進めております。

もう一つ大事なことは、公共施設について学校教育施設が約36%を占めていますが、道路、インフラ、上下水道を含めると、全部直した場合に1兆円を超える金額となります。こんなことはとてもできませんので、3つ潰して1つ作るといったことで、次世代に負担を先送りしないよう、計画的に対応したいと思っております。

大変な時代でございますが、皆様方には、平成33年度までを計画期間とする前期基本計画の進捗管理と、平成34年度からの後期基本計画の策定に向けた審議をお願いしたいと考えております。お忙しい中お時間をいただき恐縮ですが、ぜひ忌憚のないご意

見をいただけるとありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 4 自己紹介

(事務局)

それでは、次第の「4 自己紹介」につきまして、資料の中にある委員名簿の順にお願いいたします。

ー 委員自己紹介 ー

ありがとうございました。

市の部局長の紹介につきましては、資料の中にある部局長名簿により代えさせていただきます。

#### 5 会長、副会長の選出

(事務局)

続きまして、次第「5 審議会の会長、副会長の選出」でございます。

まず、会長の選出につきましては、資料の中にあります「長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例」をご覧ください。第5条第1項では、「附属機関に会長又は委員長等を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定しています。この場ではどのように取り扱ったらよろしいでしょうか。ご意見がございましたらお願いいたします。

(寺田委員)

本日初めてお会いする方が大勢いらっしゃいますので、事務局で案があるようでしたらお願いしたいと思います。

(事務局)

ただいま寺田委員から、事務局案についてお尋ねいただきました。

それでは、事務局から、会長に金物壽久委員を推薦したいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

【拍手】

(事務局)

ありがとうございます。皆様にご賛同をいただきましたので、本審議会の会長につき

ましては、金物委員に決定いたしました。

それでは、金物委員、恐れ入りますが会長席へお願いいたします。

続きまして、副会長の選出でございますが、同条例の第5条第3項には、「会長等に事故があるとき又は会長等が欠けたときは、あらかじめ会長等が指名した委員が、その職務を代理する」と規定されています。副会長はこの「職務を代理する」という役職となりますが、金物会長、どなたかご指名をいただけませんかでしょうか。

(金物会長)

私も、今日初めてお会いする方ばかりで分かりかねますので、事務局で案があるようでしたらお願いしたいと思います。

(事務局)

それでは、事務局案でございますが、副会長に市村久子委員を推薦したいと思います。金物会長、いかがでしょうか。

(金物会長)

市村委員、よろしいでしょうか。私からもお願いいたします。

【拍手】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、市村委員、副会長席へお願いいたします。

## 6 会長、副会長あいさつ

(事務局)

それでは、次第の「6 会長、副会長あいさつ」ということで、金物会長からお願いしたいと思います。

(金物会長)

ただ今会長を仰せつかりました金物でございます。

長野市にとってこの会は非常に大切な会であり、身に余る大役であります。先ほどの皆さんの自己紹介を聞いておりますと、多士済々、長野市に対する熱い思いを語っていただきましたので、きっといい会ができるのではないかと考えております。

この会は、市長さんがいつもおっしゃっていますように明るく、また、たくさんの建

設的な意見を言っていただいて、実りある会にしていきたいと思います。私も努力しますので、皆さんよろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。続きまして、市村副会長、お願いいたします。

(市村副会長)

副会長にご指名いただきました市村でございます。改めてよろしくお願いいたします。委員の皆様のご協力により、おこがましいようですが会長をサポートし、職務を全うしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

誠に申し訳ございませんが、市長は他に公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

(加藤市長)

ここで退席をさせていただきますが、先ほどの皆様の自己紹介をお聞きしまして、素晴らしい方に委員を引き受けていただいたと、改めて心強く思いました。どうぞよろしくお願いいたします。

## 7 議事

(事務局)

次第の「7 議事」に進んでまいります。議長につきましては、同じく条例の第6条第1項の規定により、金物会長をお願いいたします。

なお、事務局としましては、午後5時頃を目途にお願いできればと思っております。それでは金物会長、よろしくお願いいたします。

(金物会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)第五次長野市総合計画の構成と進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

企画政策部企画課長の日台です。よろしくお願いいたします。

- 別冊資料「第五次長野市総合計画」「平成30年度版 第五次長野市総合計画 実施計画」「第五次長野市総合計画 前期基本計画進捗状況（平成30年8月）」「第五次総合計画アンケート指標の平成30年度実績値について」に基づき、説明 —

私からの説明は以上です。

（金物会長）

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明を聞いて、委員の方々からご意見ご質問等ありましたらお願いします。

私もたくさんの資料があつて、呆気にとられているところですが、皆さん、持って帰っていただいて興味のあるところからご覧いただくしかないと思うのですが、いかがでしょうか。

（藤原委員）

質問ですが、こちらの資料は全てインターネットからダウンロードできるものなのでしょうか。

（事務局）

おっしゃるとおり、長野市のホームページからダウンロードすることができます。審議会の資料としてホームページに掲載しますし、本日も説明した資料は総合計画のページに掲載をしております。

（金物会長）

よろしいでしょうか。

それでは、議事の(2) 長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成と進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

人口増推進課長の長谷部です。私から説明をさせていただきます。

- 別冊資料「長野市人口ビジョン」「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「平成30年度アクションプラン（長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略付属資料）」「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度進捗状況及び中間評価」に基づき、説明 —

私からの説明は以上です。

(金物会長)

ありがとうございました。事務局から議事の(2)について説明がありましたが、委員の方々からご意見ご質問等ありましたらお願いします。

(伊藤委員)

「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2ページに、長野市人口ビジョンの抜粋が記載されており、合計特殊出生率が2025年に1.84、2035年に2.07と、将来的に上昇していく数値を掲げていますが、人口減少の中にあっては当然母数が減ってしまいますので、人口は減ってしまいます。これは何か根拠のある数字なのでしょうか。根拠がないとしても、今後の見通しとしてどのようなことをお考えでしょうか。

(事務局)

合計特殊出生率は、直近では1.55、速報値では1.56ということで、現状では2025年に1.84とするのは非常に厳しい状況ではありますが、長野県で掲げている数値を引用し、足並みを揃えているものです。

(藤原委員)

総合戦略の目標値について、そもそも目標値がこの数値となった背景はどのようなのでしょうか。資料のどこかに載っているのでしょうか。

(事務局)

「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の46～51ページに、指標の一覧を記載してありますが、それぞれ現状値を踏まえて各K P Iの目標値を設定しています。

(藤原委員)

そのK P Iを設定した背景というのは、手元の資料で確認するのは難しいでしょうか。

(事務局)

K P Iは戦略の策定当時に設定した数値であり、その背景となりますと各担当課での判断ですので、この一覧には出ているものと出ていないものとがあります。

(藤原委員)

今後の議論の中で、もう少し詳しく知りたいということになれば、担当課から出していただけるのでしょうか。

(事務局)

委員さんからご指摘がありましたら、その都度、資料を整えて提示させていただきたいと思います。

(金物会長)

よろしいでしょうか。

それでは、議事の(3) 今後の審議の予定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

企画課長の日台です。私から、今後の審議の予定について説明をさせていただきます。

— 資料「長野市総合計画審議会 今後の審議の予定について」に基づき、今後の審議の予定について説明 —

(事務局)

人口増推進課長の長谷部です。続いて、私からは次期総合戦略について説明をさせていただきます。

— 資料「長野市総合計画審議会 今後の審議の予定について」に基づき、今後の次期総合戦略に係る審議について説明 —

(金物会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、お分かりでしょうか。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は5年間の計画で、平成31年度までで終わり、「第五次総合計画前期基本計画」も平成33年度までで終わる、この2年間の差をどうしようか、ということでしょうか。

(事務局)

それも一つございますが、現在の「第五次総合計画前期基本計画」は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した形で策定しておりますので、率直に申し上げますと重複している部分が結構ございます。その点を皆様にご議論いただいた上で、平成32年度、33年度をどうしていくか、ご審議いただきたいと思います。

(金物会長)

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「第五次総合計画前期基本計画」がかなり一



緒に進んでいますので、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成 31 年度までで終わるのを平成 33 年度まで 2 年間延長し、「第五次総合計画後期基本計画」と同時スタートという形にしてもいいのでしょうか。

(事務局)

それも一つの案ということになります。

(金物会長)

それ以外の案となりますと、予定どおり区切っていくことになりますでしょうか。

(事務局)

総合計画は長野市全体の計画ですので、総花的と言いますか、広い範囲となります。総合戦略は、ある程度、人口減少対策、地方創生に特化した計画ですが、現在の長野市の総合戦略は、総合計画に近い総花的な内容となっております。もう少しポイントを絞ったものにしていくのか、あるいは長野県のように、総合計画を平成 34 年度から総合戦略と一体のものとするのか。そうすると、総合戦略の平成 32 年度、33 年度をどうしたらいいのかが課題となりますが、単純に現在の総合戦略を延長してしまうのか、それとも重要なものだから別なものを作り平成 34 年度を迎えるのか、あるいは全く別個に作っていったらいいのか、色々な考え方があろうかと思っておりますので、そのあたりを次回ご審議いただきたいと思っております。

(金物会長)

今日ここで決めるべきことではない、ということによろしいでしょうか。

(事務局)

今日は、こういう問題を抱えているということ、皆さんにご承知いただければと思います。

(金物会長)

では、皆さん考えていただいて、次回決定するということによろしいでしょうか。

(事務局)

次回、事務局案をお示しいたします。

(轟委員)

「主な審議内容」の中で、来年度、唐突に「大学生等若者の意見集約」とあります。

若者以外にも総合戦略に関連するものは色々あると思うのですが、なぜここで「若者」に絞られているのか、教えていただいてもよろしいでしょうか。

(事務局)

後期基本計画を策定するに当たって、できるだけ現役世代と言いますか、若者を中心に、行政に声を届けづらい世代ですので、現役世代、若者に特化するだけでなくできるだけ広い世代の声をお聴きしたいと思っております。

(轟委員)

大学生という形で括ってしまうと、先ほどの統計データでもありましたように、若い人は市外に出て行ってしまっています。では、長野市内の大学生はどこの人なのかと言えば、市外から来た人が多い。市外出身の人の声を聴くのもありますが、市内の人の声という意味では、高校生の方が良いのかもしれない。「若者」という括りでも色々あるということと、若者だけではないということも検討できればと思います。

(黒岩委員)

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の例えば 13 ページには、地域資源を活用した起業・創業支援の推進についての具体的取組がいくつか書いてあり、総合計画にも 59 ページには、消防力の充実・強化及び火災予防についての主な取組が書いてあります。この取組については、市の職員には徹底しているのか、住民自治協議会や消防団といった現場にどれだけ降りているのでしょうか。また、評価は誰が行っているのでしょうか。

計画を立てても予算がつかない、計画に載っていても実際にお願いと「予算がありません」となることが実際に結構ありますので、次期計画まで考えろということであれば、現状で、具体的取組がどこまで下りているのかを教えてくださいたいと思います。

(事務局)

まず、この計画をどこまで各部局に周知しているかということですが、総合計画は市の最上位計画であり、これに基づき各分野では例えば、先ほどの消防であれば地域防災計画が該当しますが、個別計画を策定するとともに、各々審議会を設置して計画の進捗を図っています。

進捗状況をどのように確認しているのかにつきまして、一つはアンケート指標です。無作為抽出した 5,000 人の市民の方にアンケートへの回答をお願いするとともに、幸せ実感モニターとして登録いただいている 200 人の方のご意見により経年変化を把握しています。

また、行政内部では行政評価を行っており、毎年実施計画を立て、それに対して事業の結果が出たところで、指標の実績が伸びなかったものはその理由を検証しています。

また、前年度より大きく実績値が下降した施策につきましては、二次評価として庁内で再評価を行い、予算編成等に結び付けております。

(藤原委員)

次回提示される事務局案は、事前に送付していただけないでしょうか。今回の審議会資料も大量にあったので、事前にいただけたらありがたかったと思っています。

(事務局)

本日は、委員改選後初回の審議会であったため、当日配布とさせていただきますが、次回からは、審議会の1週間前には送付したいと考えております。

(青柳委員)

施策と目標値について細かく設定されており、大変だと実感しています。自分の関係しているところについて見てみますと、この目標値を達成したとしても、あまりたいしたことがない。長野市が大きく変わることはまずありえないだろうし、施策の課題が解決できるとは思えません。行政の仕事というのはこういうものだということを理解した上で申し上げておりますが、次回の審議会では、「何年前はこうだったけど、今このように変わった」というものを何かピックアップして話してくれると、我々の仕事に夢ができあがると思います。この数字は、やらないよりやった方がいいものではあるけれども、それによって隠れた政策課題が大きく解決するとは思えないです。行政の仕事としてうまくいったものがあれば、二つか三つお話していただけると、明るくて良いと思います。ぜひお願いします。

(金物会長)

よろしいでしょうか。

(事務局)

了解しました。

(金物会長)

ごもつともで、素人は数字をたくさん見せられてもよく分からないところがあるので、お願いしたいと思います。

このあたりで議事を閉じたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、事務局にお返しいたします。

## 8 その他

(事務局)

長時間お疲れ様でした。

事務局から、次回の審議会の日程についてご案内いたします。次回は平成 31 年 2 月 20 日(水)午後 3 時から、会場は、市役所第一庁舎 7 階の第 1・第 2 委員会室で行います。通知は後日改めて郵送いたしますが、あらかじめご予約いただきますようお願いいたします。

## 9 閉会

(事務局)

それでは、以上をもちまして本日の審議会を閉会いたします。ありがとうございました。